

報道関係者各位

2022年4月1日

国立成育医療研究センター

成育こどもシンクタンク設立
医療や研究で得られた新たな知見の社会実装を促進
すべてのこどもたちが笑顔になれる社会を

国立成育医療研究センター（所在地：東京都世田谷区、理事長：五十嵐 隆）は、本日、「国立成育医療研究センター こどもシンクタンク」（略称：成育こどもシンクタンク）を設立しました。

近年、こどもたちの置かれている環境や、病気をはじめとする健康課題の傾向は大きく変化し、課題が複雑化しています。このような状況の中で、成育基本法の施行やこども家庭庁の発足に向けた議論など、成育医療¹やこどもたちを取り巻く社会環境や制度が大きく変化しつつあります。今後、こどもたちに寄り添う成育医療を社会で推進していくためには、身体的な健康だけではなく、心理・社会的な部分も含めた包括的（bio-psycho-social）な支援に取り組むことが求められています。そのためには医療や研究で得た科学的根拠に基づいた新たな知見を、実現可能性を踏まえた政策提言につなげ、さらに社会実装までつなげていく仕組みが必要です。

こうした課題に対応するため、「成育こどもシンクタンク」を設立しました。成育こどもシンクタンクでは、プロジェクトベースで組織横断的・専門分野横断的なチームを結成した上で、既存の健康課題への解決策や新たな健康課題を提示する研究を実施していきます。さらに、科学的根拠に基づいた情報発信や政策提言、社会実装²の支援などを通して、病院や研究所の枠にとどまらず、社会と一体となって活動し、すべてのこどもたち（こどもたちの成長を支えるすべての方々を含む）が笑顔になれる社会を目指します。これは、国立成育医療研究センターの理念である「病院と研究所が一体となり、健全な次世代を育成するための医療と研究を推進」に基づいています。

【成育こどもシンクタンクの理念・使命】

成育こどもシンクタンクでは、「すべてのこどもたちが、笑顔になれる社会を創ります」という理念を掲げ、この理念を実現するため、下記四つの使命に基づいて活動していきます。

◆ 理念

¹ 成育医療：受精・妊娠にはじまり、胎児、新生児、乳児、幼児、学童、思春期、大人へと成長・発達し、次世代を育む過程を、総合的かつ継続的に診る医療のこと。

² 社会実装：もっと暮らしやすい社会を創るための方法を考え、みんなに伝えて一緒に社会を変えていくこと。成育こどもシンクタンクでは、こどもたちの元気につながるアイデアを生活の中に組み込んでいくことを目指します。

・すべての子どもたちが、笑顔になれる社会を創ります

◆ 使命

- ・子どもたちの声を大切にします【Advocacy】
- ・からだ・こころ・社会の視点から子どもたちの元気を考え続けます【Bio-Psychosocial Wellbeing】
- ・子どもたちの成長を支えるすべての人たち「子ども応援団」をつなぎ、育てます【Collaboration and Nurturing】
- ・確かな情報・考えをとどけ、社会実装にもこだわります【Dissemination and Implementation】

【成育こどもシンクタンクの今後の予定】

成育こどもシンクタンクでは、子どもたちの元気につなげるために、研究課題の設定や研究の実施、その成果の外部への発信、政策提言・社会実装の支援と、こうした活動に必要な人材育成、研究基盤の強化を戦略的に行っていきます。その上で、成育医療、母子保健行政の国・地方自治体レベルでの発展・推進や、成育医療の体制・質の向上などを目指していきます。初年度は、こうした活動に必要な体制整備や既存の研究活動の整理、データ基盤の整備の領域を特に優先して実施し、2年目以降は特に重要な研究課題に対して取組を強化し、改善策などを提示していく予定です。

また、設立を記念して令和4年6月20日（月）にシンポジウムを予定しています。シンポジウムでは、成育医療、母子保健の専門家のみならず、幅広い方々を対象として、こども施策の社会実装とその支援に向けた成育こどもシンクタンクを取組を紹介する予定です。詳細は後日ご案内させていただきます。

【問い合わせ先】

国立成育医療研究センター 広報企画室 近藤・村上
電話：03-3416-0181（代表） E-mail:koho@ncchd.go.jp